

**○介護サービス事業所との懇談会**

開催日：

令和2年6月19日	みまき福祉会
25日	社会福祉協議会・緑風会
27日	地域包括支援センター
28日	ちいさがた福祉会

懇談内容：

4点ほどの項目の他にも感じていることなどをフリートークで行った。

項目内容：

- ・どんな介護サービスが足りないと感じているか
- ・介護職員の確保について（外国人職員の雇用等も含めて）
- ・職員の処遇について
- ・介護保険以外での買い物サービスの支援の実態について

**【フリートークから】**

- ・総合事業のミニデイについては、介護度がつくくらいの人も利用している。利用者も固定化している。
- ・筋トレ教室については、小規模でフレイル対策の節目になっている。
- ・グループホームは重症化していて、回転が悪い。
- ・認知症デイを何とか作りたい。
- ・コロナによって施設も頑張っている。
- ・心配不安の中でやっている。
- ・在宅で支えていくには人材が欲しい。
- ・市内の事業所では、外国人職員は地域に住むお嫁さんが主であると思う。
- ・介護福祉資格については、事業所の助成制度で取得してもらっている。
- ・移送サービスの兼ね合い。充実したものになってほしいが難しい。
- ・タクシー券は利用しづらい。
- ・デマンドは土日運行を対応をしていないので、家族がいないと大変。
- ・病院へ行くにも、付き添いがいないのが困る。介護保険に振り替えられないか。
- ・訪問入浴サービスのなさが心配。
- ・コロナや台風などの災害時にどのような体制を取ったらよいか。
- ・福祉避難所のありがたさを感じている。
- ・事業所と行政との連携。現況できる場が欲しい。
- ・買い物サービスとの絡み。
- ・ごみの処理について、サービスだけではまかないきれない。独自の回収方法があると良い。

- ・家族との関わりと支援体制で、臨機応変にできるサービスが欲しい。
- ・医療依存度の高さ。吸引について、引き受けてくれる施設がなかなかない。
- ・老老介護や掃除について。生活支援できない（有料なら OK）介護保険の制度としてならないものか。
- ・外国籍の方のサービスの対応について悩むこともある。
- ・認知症の方の見守りネットワークについて、昨年4月に進めるかどうかあったが、途切れてしまった。
- ・最初から最後まで続けるサービスがなかなかない。
- ・コロナ禍における面会で、オンライン等を扱えない職員もいるので方法を考えている。
- ・オンラインでの面接については、設備やタブレット等の不足もある。
- ・離れている家族との面会について、何とかしてあげたいが難しい。
- ・利用する側、提供する側の意識の問題があって悩ましいところ。
- ・有料老人ホームが少ない。
- ・市外業者の参入の少なさを実感している。
- ・職員間の精神的サポートの大切さ。
- ・待機者や長期化のため、特別養護老人ホームの定員を増やしたい。
- ・ショートステイの利用率の低下がある。
- ・身体介護より、家庭内の困りごとが多い。そのニーズも高い。具体的には掃除、料理、買い物。市独自のサービスを作ってもらえたらありがたい。
- ・看取りが増えてきている。

## ○各地区民生児童委員 介護保険事業計画策定懇談会での意見聴取

開催日：

令和2年7月7日	北御牧地区
8日	田中地区・柵津地区
9日	滋野地区・和地区

懇談会内容：

3つの質問に対して、日々感じていることを書き出し、グループ内で話し合いをしてグループ発表してもらった。

質問内容：

- ①ご自身の周りで困っている高齢者の方はいますか。どんなことに困っていますか。
- ②自分が年老いたら、どんな風に生活したい、暮らしたいですか。
- ③高齢者の方とどのように関わっていきたいと感じていますか。

## 【グループ発表した意見から】

### ①について・・・

- ・夫婦二人暮らしであるが、二人とも認知症。
- ・特に相談を受けたことはない。
- ・独居の方で、雨の中のごみ出し。
- ・車の免許を返上した方の通院や買い物への移手段。
- ・健康面の不安。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行のため、遠くにいる家族に会えない。
- ・認知症になった時のお金の管理。
- ・ごみの片づけや、庭などの管理。
- ・高齢者への虐待。
- ・近隣との関係が良くない。
- ・5080 のケースがある。
- ・話し相手がいない。

### ②について・・・

- ・趣味の仲間や気の合う中で近くで集まりたい。
- ・施設で生活したい。
- ・子どもたちに迷惑をかけずに趣味を楽しみながら、できるだけ元気でいたい。
- ・介護経験が長かったので、家族にはあまりさせたくない。
- ・趣味を生かした張りのある生活をしたい。
- ・びんぴんコロリでいきたい。
- ・地域の中で暮らしていきたい。
- ・できる限り自立した従来通りの生活をしたい。
- ・畳の上で死にたい。
- ・感謝の気持ちを持ち続け、愛される老人医になりたい。
- ・夫婦で旅行に行きたい
- ・年齢を機にしないで生きていきたい。

### ③について・・・

- ・人は人と会って話すことが必要と感じた。
- ・やさしい気持ちで接していきたい。
- ・皆さん最後まで在宅で過ごしたいと願っている。
- ・普段から気にしてもらっているという安心感を抱いてもらうよう、見かけたら声をかけるようにしたい。
- ・明日は我が身と思い、思いやりの気持ちで接していきたい。
- ・年を取っても生きがいのある生活を送れるよう手助けしたい。

- ・ 支え合っていきたい。
- ・ 気軽に声がけをして、一人ではないことを知ってもらえるように関わりたい。
- ・ 今までどおりで。
- ・ 伝統にとらわれず、新しい住みやすい社会を作っていかなければならないと感じた。
- ・ 民生委員として可能な限り訪問して、良き相談相手になりたい。
- ・ 人生の先生役としていろいろと教えてもらうようにしたい。